



# 事業計画及び成長可能性に関する説明資料

株式会社AVILEN（証券コード：5591）

2024年3月29日

1. 2023年12月期 通期 決算サマリー
2. 事業概要
3. 業績及びKPIパフォーマンス
4. 中長期的な戦略とビジネスアップデート
5. リスク情報
6. APPENDIX

# 2023年12月期 通期 決算サマリー

## 業績ハイライト

売上高

(通期)

929 百万円

前年比

+27.0%

売上総利益

(通期)

651 百万円

前年比

+32.0%

営業利益

(通期)

171 百万円

前年比

+55.8%

取引社数

(累積)

707 社

前年比

+31.7%

# 事業概要

## Purpose

データとアルゴリズムで、人類を豊かにする



代表取締役

## 高橋 光太郎

東京大学大学院 修了

株式会社AVILEN創業メンバー。機械学習による即時的な津波高予測の研究に従事。AI・DXによる実問題の解決を得意とする。2021年から代表取締役。MUFG等主要な企業アカウントを開拓し、業務提携等長期的な関係構築を実現。著書の「最短突破 ディープラーニングG検定問題集」は1万部突破。金融データ活用推進協会の標準化委員も務める。



執行役員 COO

## 松倉 怜

東京大学、ペンシルベニア大学ビジネススクール (Wharton)

Statistics・Finance専攻 修了

経済産業省、ペインアンドカンパニー等を経て独立。大手企業の新規事業創出やスタートアップの戦略策定、自治体のDX等を支援。自民党デジタル社会推進本部Web3PTワーキンググループメンバー、京都市DXアドバイザー、弁護士。



執行役員 CTO

## 吉川 武文

東京大学 卒業

日本生物学オリンピック金賞・本選一位、合成生物学の世界大会iGEM金賞等の受賞歴を持つ。画像認識・時系列データ解析・言語処理等幅広い開発案件に携わるとともに、その豊富な実務経験を活かしE資格講座等の講座監修・講師を担当。



社外取締役

## 小野 種紀

東京大学、コーネル大学ロースクール、同ビジネススクール 修了

サリヴァン・アンド・クロムウェル法律事務所で米国法弁護士として活動後、ゴールドマン・サックスを経て、三井住友銀行執行役員、SMB C日興証券常務取締役、日本郵便専務執行役員、日本郵政専務執行役を歴任。外国法事務弁護士。



取締役

## 大川 遥平

筑波大学大学院 修了

株式会社AVILEN創業メンバー。AIを用いたシステム開発プロジェクトの企画・遂行を得意とする。データサイエンティスト協会スキル定義委員も務め、共著に「最短突破 データサイエンティスト検定 (リテラシーレベル) 公式リファレンスブック」がある。



執行役員

## 太田 拓

東京大学大学院 修了

BCG、unilabo執行役員を経て入社。BCGでは製造業・通信・金融・小売・製薬等の業界でトランスフォーメーション、ターンアラウンド等のテーマで戦略策定から実行支援に従事。unilaboでは基幹事業の責任者として5部署を統括し、事業グロースをリード。



取締役 CFO

## 錦 拓男

早稲田大学大学院 修了

10年近い投資銀行のキャリアを有し、M&Aや財務戦略全般に精通。直近では上場企業の経営企画部の責任者として、資本業務提携やIR等の業務を経験する。財務、経理、総務、人事の責任者、大手企業とのアライアンス業務も担当し、上場企業7社との資本業務提携等を執行。



社外取締役

## 岡田 拓郎

東北大学工学部 卒業

三菱UFJ信託銀行経営企画部、(一社)全国銀行協会、地方銀行で一貫して金融デジタル分野に従事。デジタル庁に民間専門人材として勤務。スタートアップの顧問も務める。金融データ活用推進協会の代表理事を務め、前身組織「金融事業×人工知能コミュニティ」の発起人。

BUSINESS

# AIソリューション

AIエンジニア武者修行研修

ビルドアップパッケージ

Instructea - LLM

パッケージ型 ソフトウェア (SaaS)

カスタマイズ型 ソフトウェア

Cognea - 特殊紙面認識

Findea - 異常・損傷検知

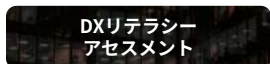
Genea - 画像生成

Estimea - データ分析・予測

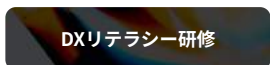


## ビルドアップパッケージ

### 組織開発戦略



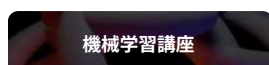
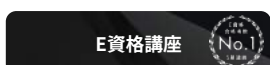
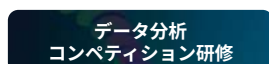
### 全社員向け



### ビジネスパーソン向け

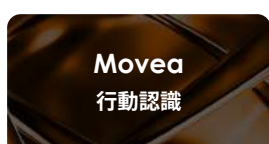
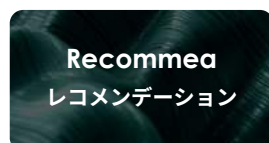


### エンジニア向け



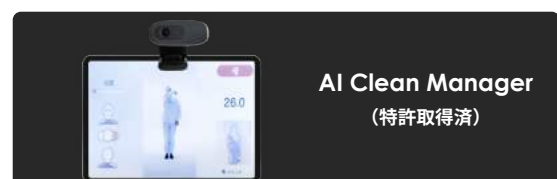
## カスタマイズ型 ソフトウェア

(技術コアモジュール)

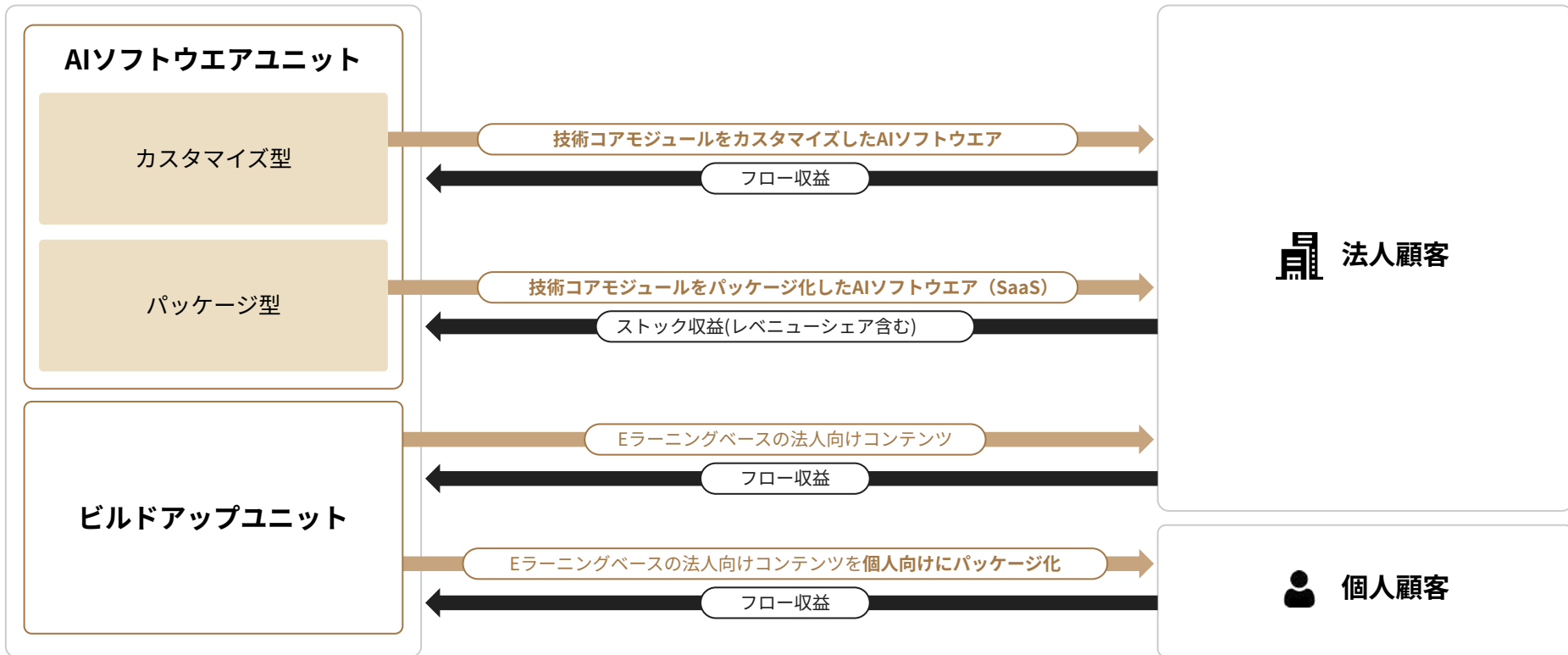


## パッケージ型 ソフトウェア

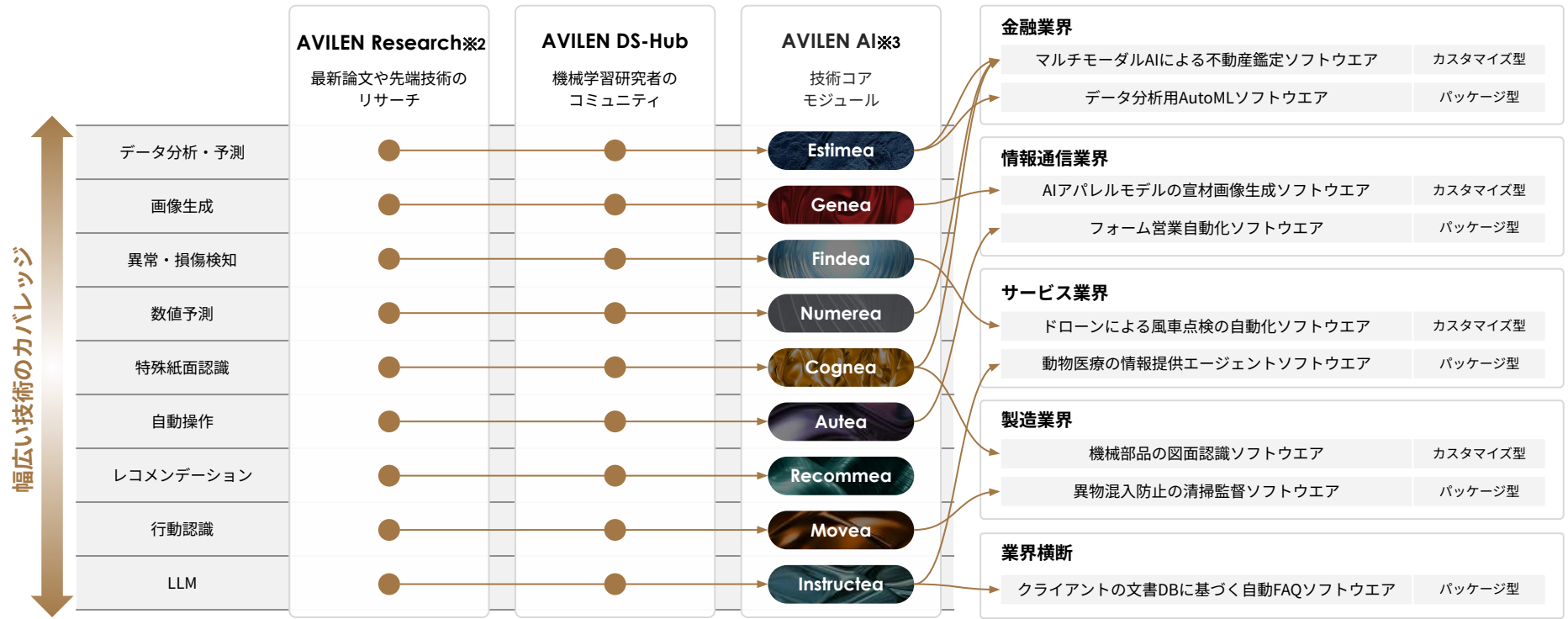
(SaaS)



# AIソフトウェア及びビルドアップパッケージを提供する、AIソリューション事業の単一セグメントで事業を展開



# 幅広い技術コアモジュールを活用し、特定の業界に限定されない幅広い顧客の課題を捉え、効率的かつマルチモーダル※1なソフトウェア開発を実現



技術の最新性を担保

※1 | テキストや時系列データ等複数のコアモジュールを組み合わせて開発するAIソフトウェア  
 ※2 | 最新論文や先端技術のリサーチし、AVILEN AIをアップデートする社内の仕組み  
 ※3 | AIソフトウェアを開発する際の基盤となる技術コアモジュール。AVILEN AIを活用することで効率的なAIソフトウェアの開発が可能となる

# 組織のアセスメントやロードマップの策定、部門横断的にAI人材の育成による組織開発を支援するeラーニング等をベースにパッケージ化されたサービスを提供

## 組織開発戦略



### DXリテラシーアセスメント

30分のスピード診断で  
組織のDXスキルを可視化



### AI/DX組織開発ロードマップ

DX推進やAI活用ができる  
組織づくりを伴走支援

## 全社員向け



### ChatGPTビジネス研修

ChatGPTの基礎知識が  
1日で身につく



### DXリテラシー研修

顧客体験の向上で  
事業成長の実現を促す

## ビジネスパーソン向け



### ChatGPTアイデアソン研修

生成AIのユースケースや活用施策を、コンペティション形式で創出



### データ活用研修

データ分析の重要性と業務への活用方法を習得



### AutoMLで学ぶデータ分析実践研修

データ分析のツール演習で実践力が身につく



### AIビジネス研修

ビジネスパーソンに必須のAIリテラシーを習得



### G検定対策講座

深層学習を事業に活用する知識が身につく



### DS検定対策講座

実務でデータサイエンスを活用する力の  
土台を築ける

## エンジニア向け



### データサイエンティスト研修

事前知識不要でPythonを使った  
機械学習が学べる



### E資格講座

徹底的な実装演習で  
深層学習の開発スキルを習得



### ディープラーニング領域特化研修

実務直結の深層学習の開発スキルを  
集中強化できる



### データ分析コンペティション研修

AIの予測精度競争で開発スキルを向上し、  
人材を発掘

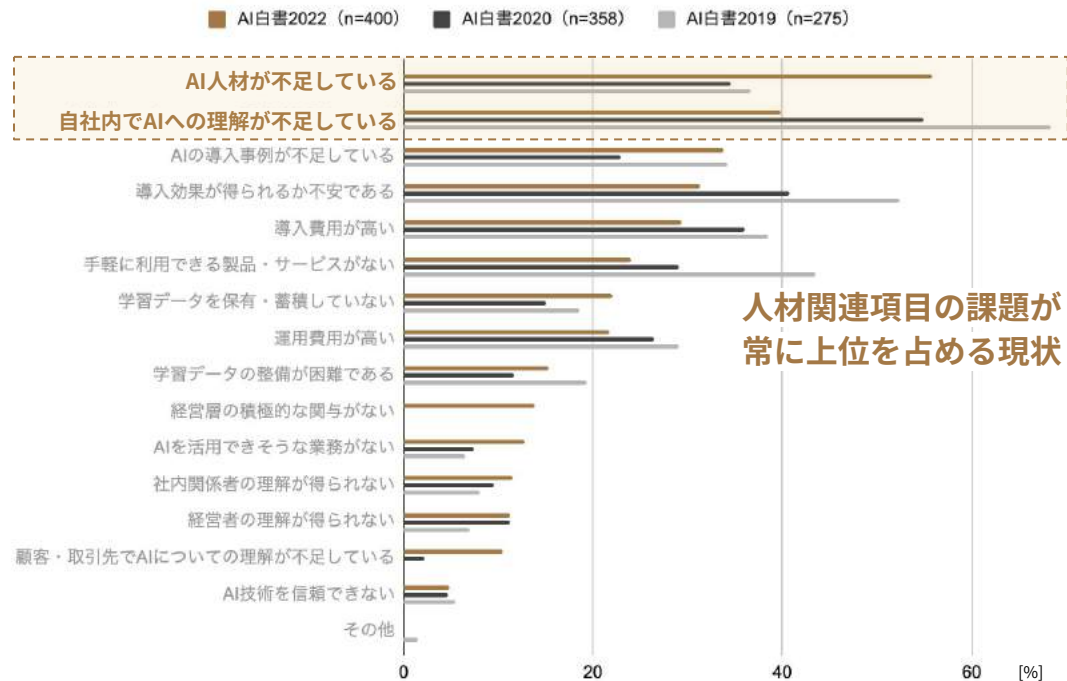


### AIエンジニア武者修行研修

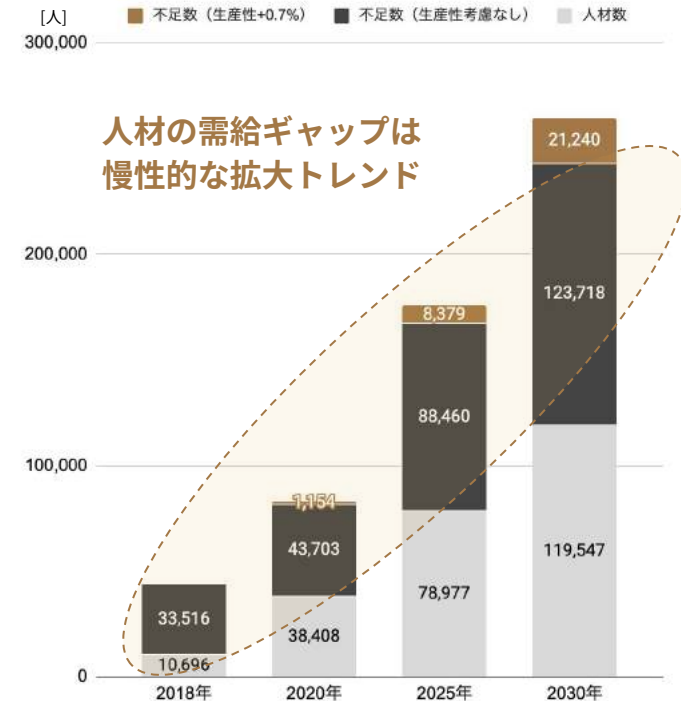
開発案件へのアサインを保証し、  
即戦力を9ヶ月で育成

# 慢性的な人材不足 = 市場拡大のボトルネック = AVILENの優位性

## AI導入検討における課題



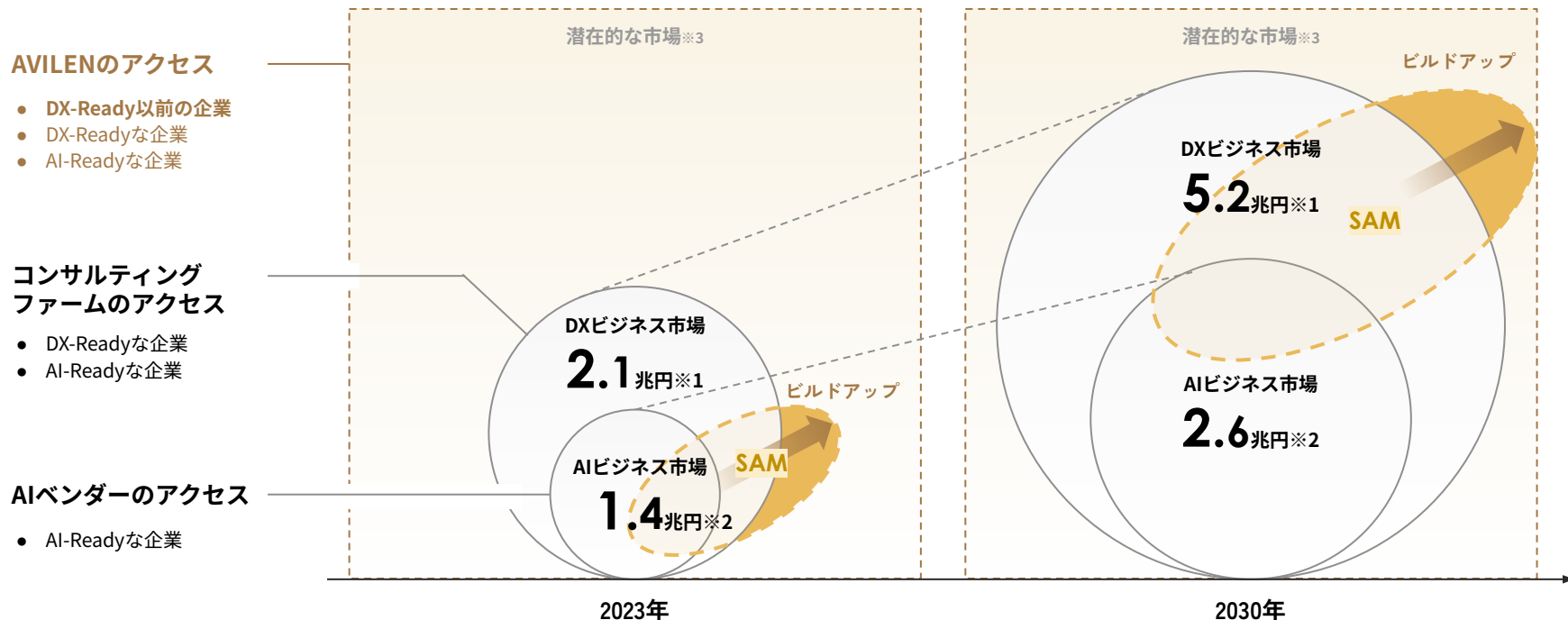
## AI人材の需給ギャップ



出典：「AI白書2022：図表②-17 AI導入課題（日本企業の経年比較、複数回答可）」より当社作成

出典：「経済産業省 平成30年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備—IT人材需給に関する調査—調査報告書：図4-5 AI人材全体の受給についての試算結果①」より作成、AI需要の伸び率を「平均」（CAGR：約16.1%）として試算

# 「ビルドアップ」により潜在的な市場へアクセスし、AVILENがTAMを拡大



※1 | 富士キメラ総研「デジタルトランスフォーメーション（DX）の国内市場（投資金額）調査」より当社作成。日本におけるAIやIoTといったデジタル技術を活用し業務変革等のための投資額

※2 | 富士キメラ総研「人工知能ビジネス総調査」より当社作成。日本におけるAIを活用したサービス市場、アプリケーション市場、プラットフォーム市場の合計値。

※3 | DX-Ready以前の企業における潜在的な市場を当社にて定義したもの



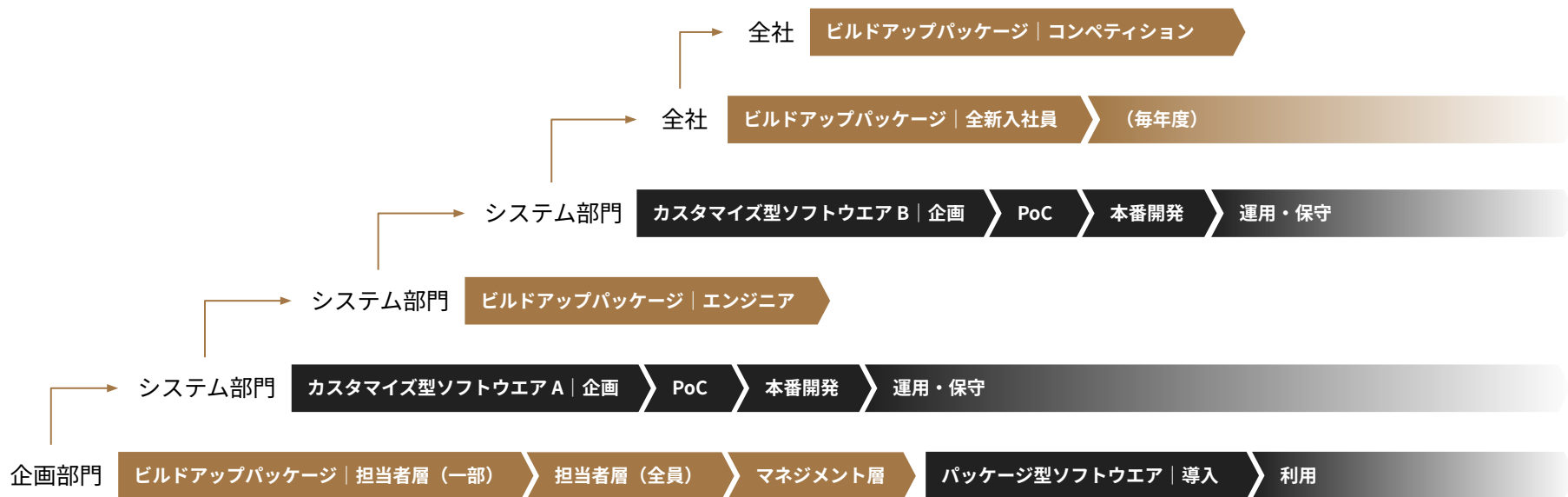
# ビルドアップパッケージにより企業のテクノロジー活用アビリティを強化。 AI搭載ソフトウェアによる課題解決まで「真の一气通貫モデル」を提供





顧客内における他部門への拡大、商品のクロスセルで高い継続率を実現。AI-Ready以前の企業がビルドアップパッケージを活用しAIリテラシーを向上、当該企業に対してシームレスにAIソフトウェアを提供

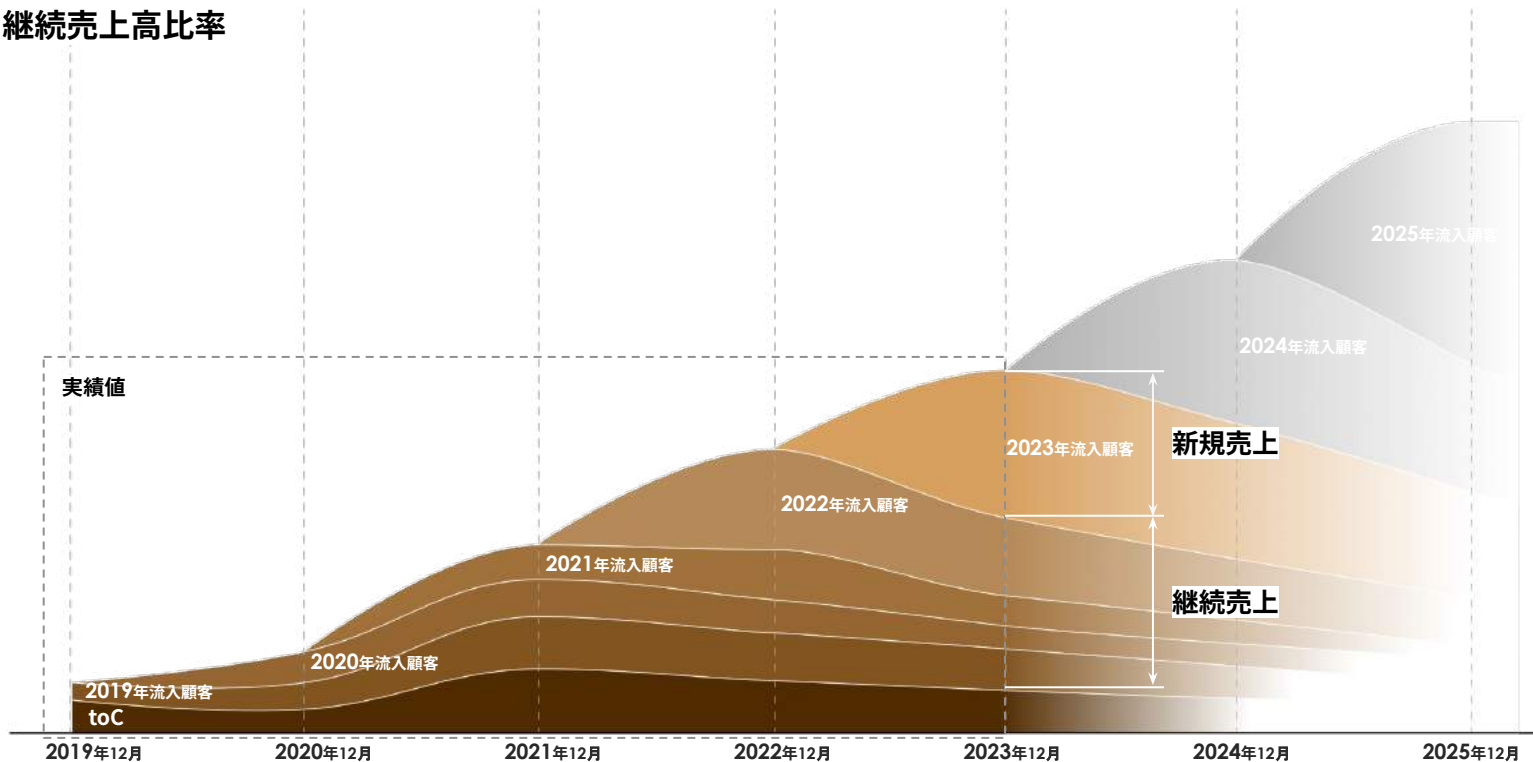
## LTV※1拡大の一般例



※1 | Life Time Valueの略称で、「顧客生涯価値」と訳される。一社の顧客が取引を始めてから終わりまでの期間（顧客ライフサイクル）内にどれだけの利益をもたらすのかを算出した指標

## 新規顧客数の拡大と安定的な積み上げ型成長を実現

### 売上高と継続売上高比率



# 業績及びKPIパフォーマンス

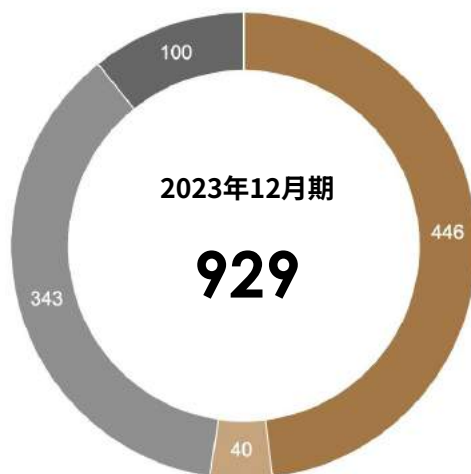
## AIソフトウェア及び法人向け売上高の割合は増加傾向

単位：百万円

● AIソフトウェア（カスタマイズ） ● AIソフトウェア（パッケージ） ● ビルドアップ（法人） ● ビルドアップ（個人）



個人	法人	ビルドアップ(法人)	AIソフトウェア
21	79	54	46



個人	法人	ビルドアップ(法人)	AIソフトウェア
11	89	41	59

## 2023年12月期 KPIハイライト

取引社数※1

297社

(前年比+7.6%)

新規取引社数※1

127社

(前年比+1.6%)

継続率 (社数) ※2

76.7%

(前年比-5.5%)

法人単価

2.8百万円

(前年比+33.1%)

売上高成長率

21-23年度CAGR

39.5%

売上総利益率

21-23年度CAGR

45.2%

営業利益成長率

21-23年度CAGR

42.9%

売上高人件費率

21-23年度平均

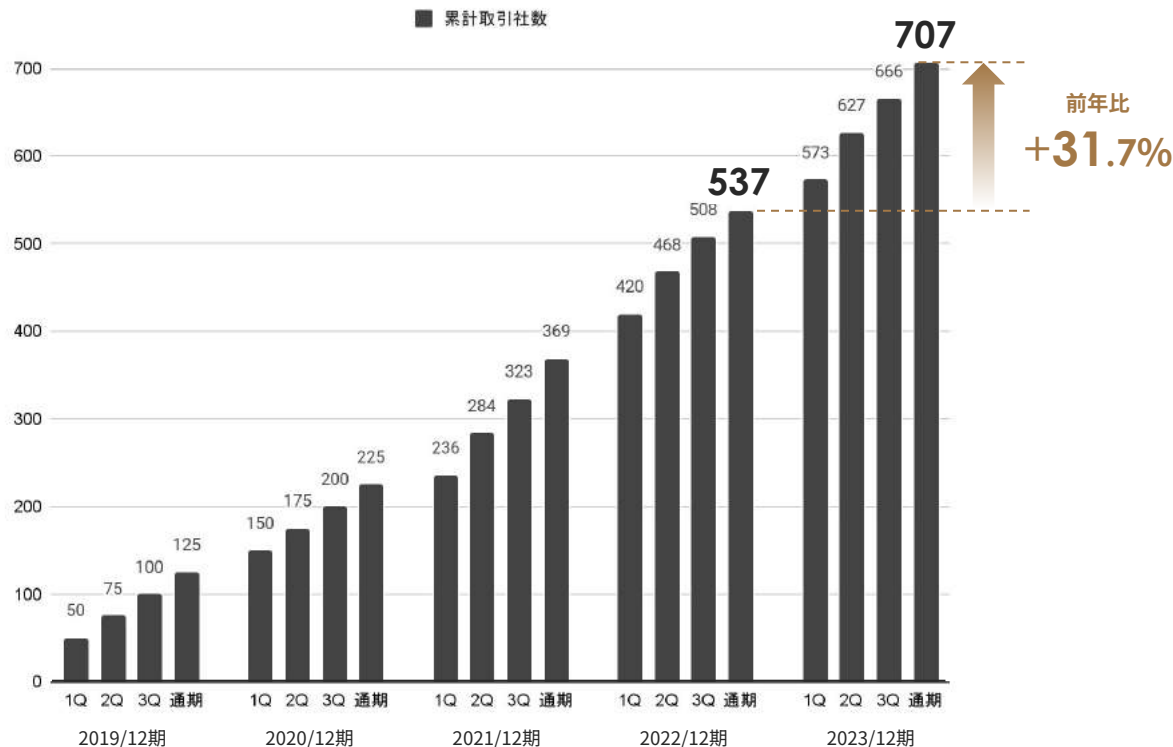
45.4%

※1 | 当社の営業コンサルタントがカバレッジしている法人顧客数

※2 | 22年度100万円以上の取引を行った法人顧客の内、23年度も取引を行った法人顧客

# 累計取引社数は700社を突破。前年比+170社 (+31.7%) で伸長

累計取引社数推移 [社]

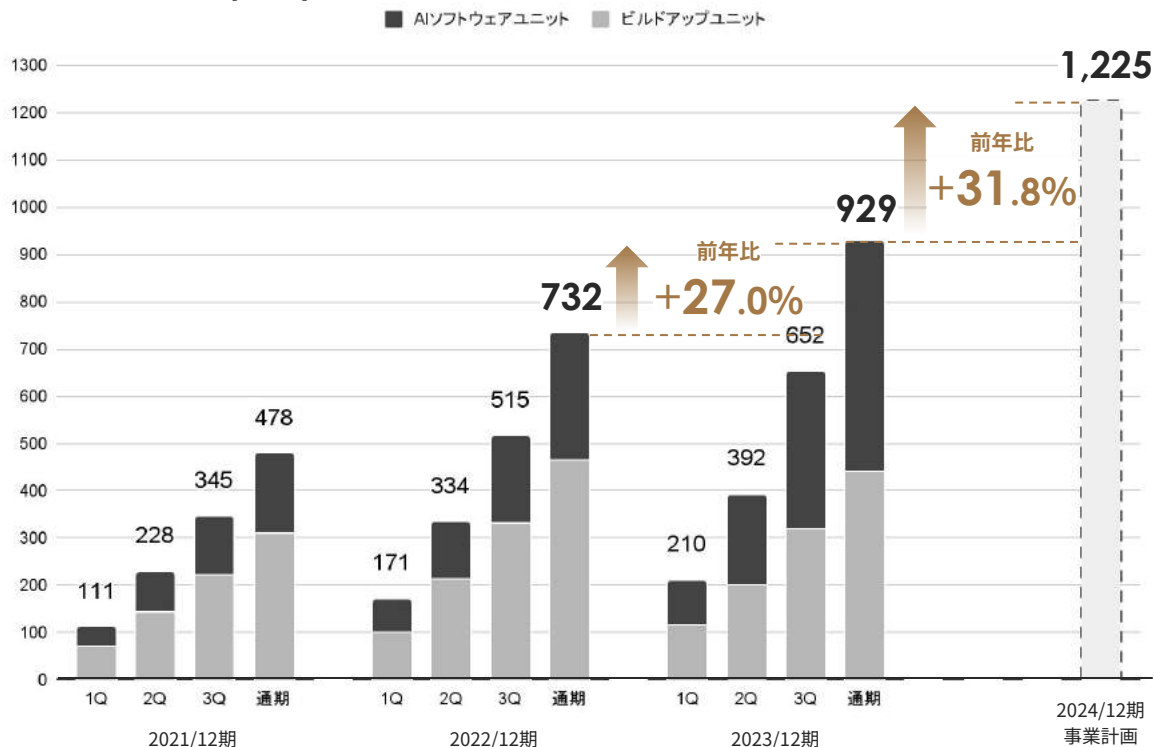


## 全社ベース

- 人材の需給ギャップが慢性的な拡大トレンドにある良好な外部環境に対し、ChatGPTビジネス研修等の新規サービスの提供等により、取引社数は引き続き拡大傾向
- ChatGPTにより一層広範な企業がAI利活用の検討を始めており中小企業からの受注も増加
- 8割程度がビルドアップでの取引先であるため、既存取引先の大半がAIソフトウェアのリード顧客という位置づけ (LTV増加ポテンシャル)

# 通期の売上高は929百万円（前年比+27.0%）で成長

## 四半期売上高推移 [百万円]



## AIソフトウェア

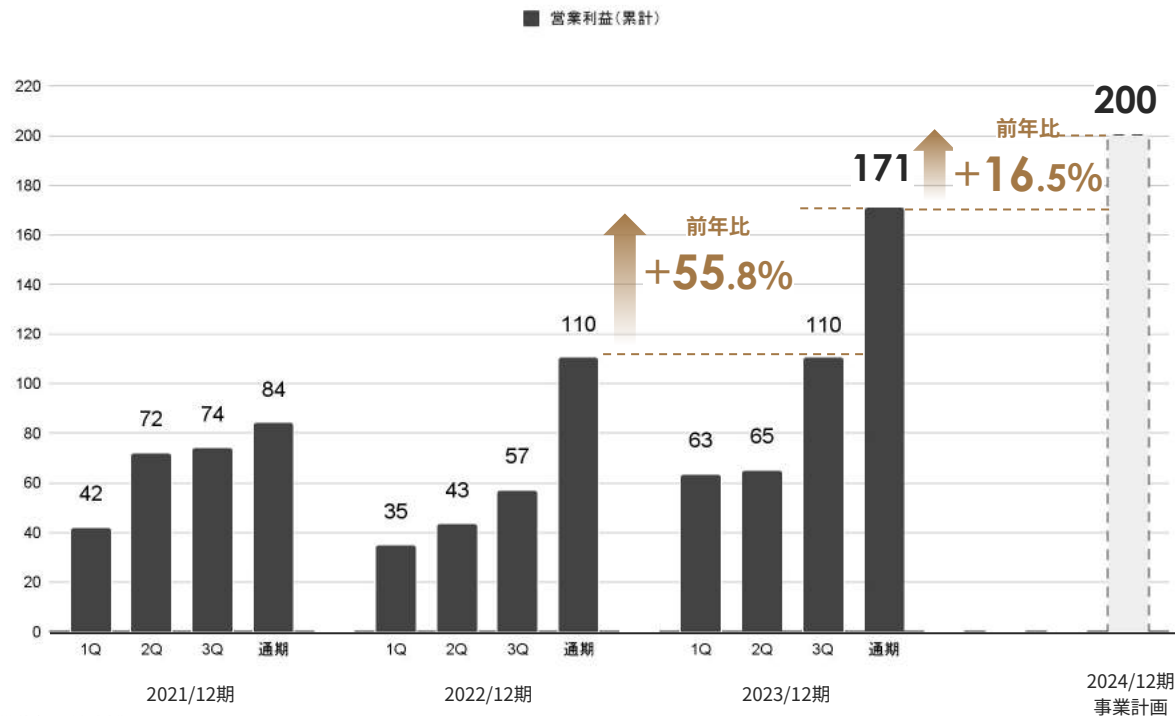
- 22年度から新規取引はじまったクライアントの継続に加え、新規取引先も順調に増加し、前年比83.4%成長
- AI関連コンサル案件も受注し24年度に向け対応領域拡大
- ChatMeeは大型受注もあり来期に向けて順調な滑り出し、24年度の顧客基盤拡大・継続率強化に向け、Chatmeeのカスタマーサクセス体制を強化

## ビルドアップ

- 下期よりChatMeeの営業に集中してリソース投下した影響もあり、前年比-5.0%
- データ分析コンペ研修等高単価サービスは堅調に推移
- 24年度の成長拡大に向け、重点顧客の選別と一気通貫でのサービス提供を徹底するために組織再編を実施

## 通期の営業利益は171百万円（前年比+55.8%）で赤字期間ゼロを継続

四半期営業利益推移 [百万円]



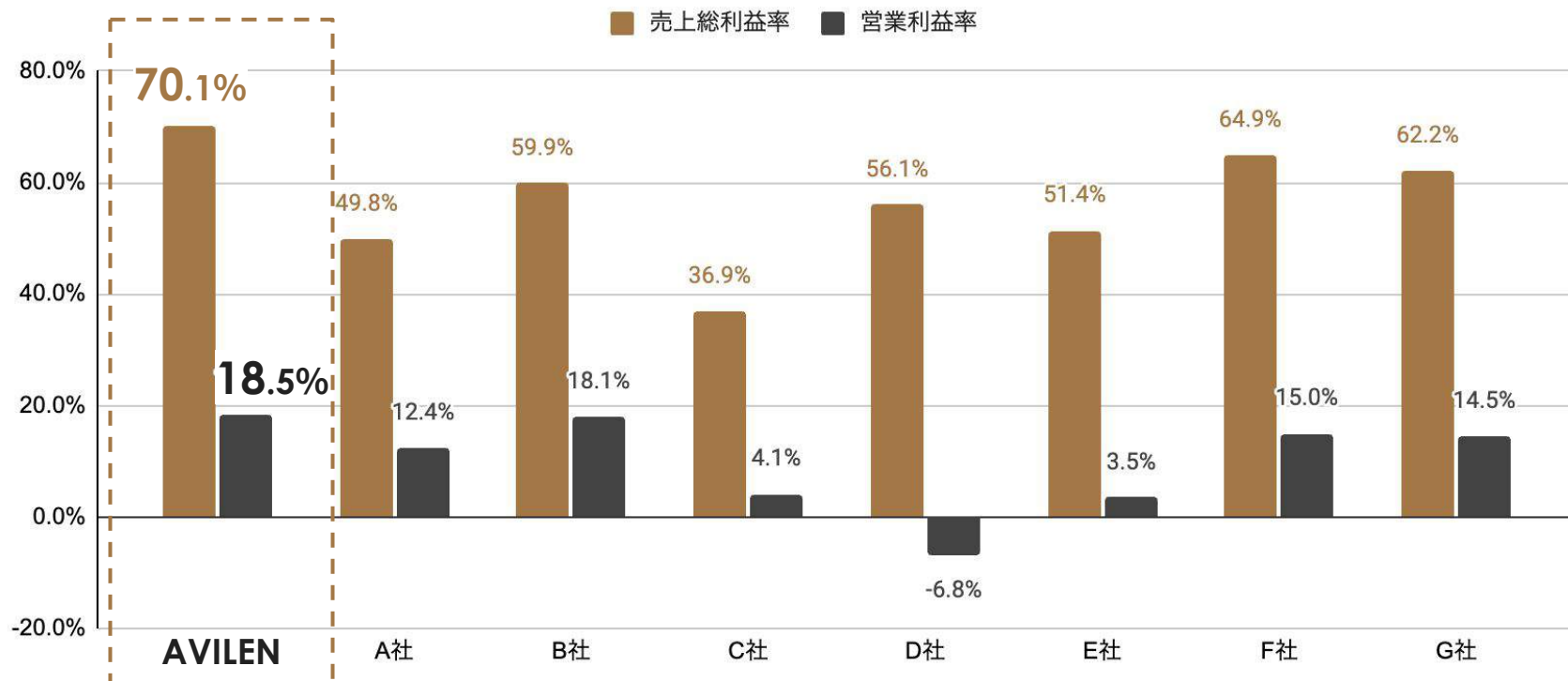
### 全社ベース

- 当社のコストは固定費が大半を占めているため、計画対比売上高の減少に伴い営業利益も同様に計画対比減少
- 前年比55.8%成長。営業利益率は18.5%（前期15.1%）
- 幹部レベルの採用含め事業基盤を強化しつつ、増益を目指す



## 他のAI領域企業と一線を画す、高い経営効率

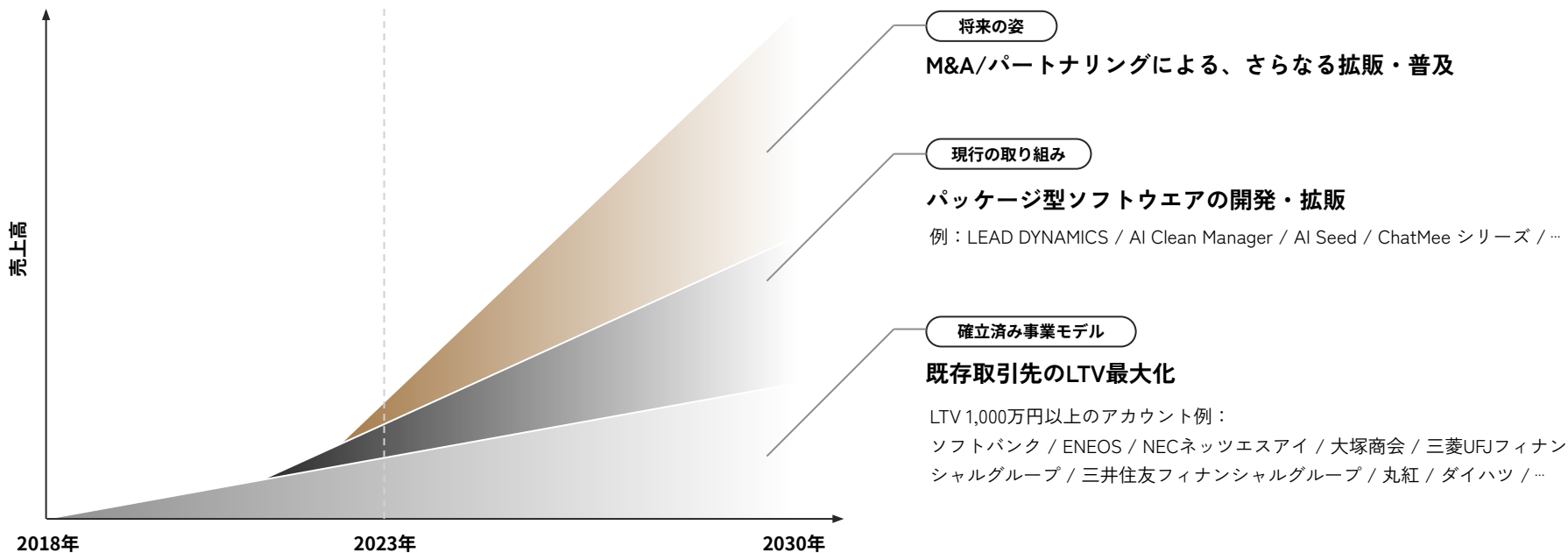
AI領域企業との比較 ※1、2



# 中長期的な戦略とビジネスアップデート

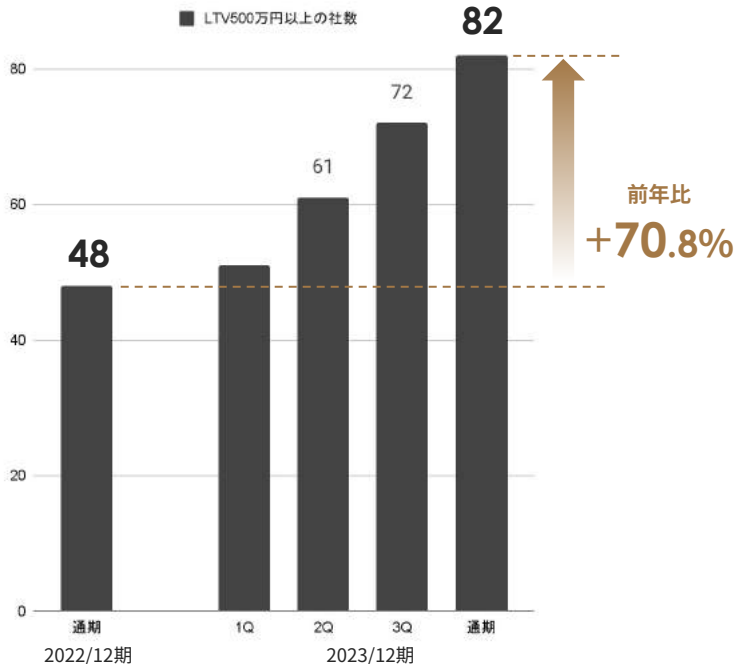
# 業界共通課題を解決するパッケージ型ソフトウェアを拡販。 M&A/パートナーリングにより、さらに普及を加速させ非連続成長を実現させる

中長期的な戦略（収益モデルの進化）



# 重点顧客の選別及び、ビルドアップとAIソフトウェア間のクロスセルによる一気通貫でのサービス提供を徹底し、既存取引先のLTV最大化を目指す

LTV500万円以上の社数



LTV上位10社のLTV成長率

(2023年12月期通期時点のLTV / 初回取引金額)

A社	金融	67倍
B社	製造	10倍
C社	情報・通信	22倍
D社	情報・通信	17倍
E社	情報・通信	117倍
F社	卸売	22倍
G社	製造	27倍
H社	情報・通信	10倍
I社	情報・通信	5倍
J社	小売	50倍

## 現状の取り組み

- ビルドアップとAIソフトウェアのクロスセルを実施
- ビルドアップの顧客に、AI活用に向けたChatMeeやソフトウェア開発の提案及びAIソフトウェアの顧客に対し、現場への浸透を図るためにビルドアップの提案を実施

## 戦略

- 重点顧客の選別と一気通貫でのサービス提供を徹底
- サービス・プロダクト提供の拡余地の大きい顧客を選定し、常駐を含めた密着サービスで顧客業務の理解と信頼関係構築を進め、一気通貫の提案を行なう

## 目標

- FY24については、重点顧客の数と重点顧客からビルドアップとChatmeeを含めたAIソフトウェア間のクロスセルにより年間売上高を実績対比で数倍を目指す

# 「AIエンジニア武者修行研修」や「データ分析コンペティション」など、ビルドアップとソフトウェアの両輪を持つAVILENならではの高付加価値サービスをリピート提供

## 3月19日配信のプレスリリース

(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000191.000043360.html>)

AVILEN、株式会社ビーネックスソリューションズに2期連続で「AIエンジニア武者修行研修」を提供

～AVILENのAI開発プロジェクトにPMとして参画し、即戦力AIエンジニアへのリスキリングを実現～

株式会社AVILEN 2024年3月19日 11時00分



株式会社AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）は、株式会社ビーネックスソリューションズ（本社：愛知県刈谷市、代表取締役社長：遠藤 武志、以下「ビーネックスソリューションズ」）への「AIエンジニア武者修行研修」の提供を通じて、同社社員のリスキリングを支援しました。



## 3月28日配信のプレスリリース

(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000194.000043360.html>)

AVILEN、三菱UFJフィナンシャル・グループ主催「MUFGデータサイエンスコンペ2023」の企画・運営を支援

株式会社AVILEN 2024年3月28日 11時00分



株式会社AVILEN（所在地：東京都中央区、代表取締役 CEO：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）は、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：亀澤 宏規、以下「MUFG」）が主催する「MUFGデータサイエンスコンペ2023（以下、コンペ）」の企画・運営を支援しました。



...

and more

# ビルドアップパッケージ「E資格講座」が6期連続でE資格合格者数No.1※1を達成。 実績に裏付けられた高品質なコンテンツが、リピート受注を牽引

3月26日配信のプレスリリース (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000193.000043360.html>)

## AVILEN、7期連続でE資格の合格者数No.1を達成

～2024#1は240名の合格者を輩出し、日本のAIエンジニア不足解消に寄与～

株式会社AVILEN 2024年3月26日 11時00分

株式会社AVILEN（東京都中央区、代表取締役：高橋光太郎、以下「AVILEN」）は、一般社団法人日本ディープラーニング協会（以下「JDLA」）による「E資格2024#1」の結果発表を受け、合格者240名を輩出し、7期連続で合格者数No.1（※1）を達成したことを報告します。

今後もAIエンジニアを目指す受講生の皆様へ、最高のE資格対策講座をお届けできるよう、講座およびサポートの品質向上に努めてまいります。

※1 | JDLAのE資格実績報告より



## ・「全人類がわかるE資格講座」について



AVILENは、E資格のJDLA認定事業者（No.00008）として、2019#2から「全人類がわかるE資格講座」をご提供して参りました。

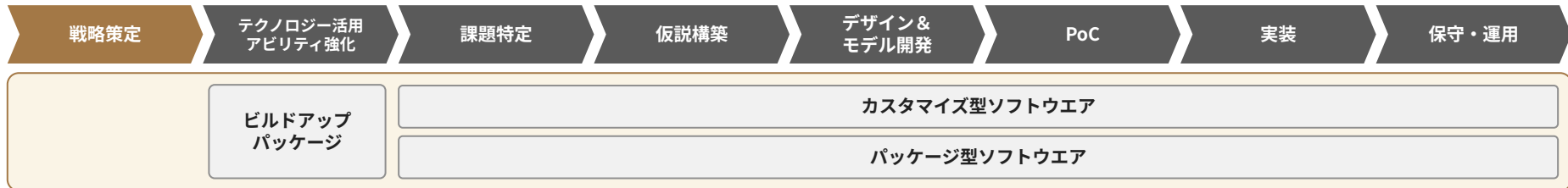
9期目を迎える2024#1の結果は「合格者240名、新規受講者（※2）の合格率81.8%」となり、合格者シェア27.7%を獲得、これにより、2021#1から2024#1まで「7期連続で合格者No.1」を達成し、2021#1から累計で1,862名の合格者を輩出しています。

※2 | 新規受講者とは、E資格2023#2以降にE資格講座を修了し、2024#1を受験した受講者

<E資格講座サービスページ>

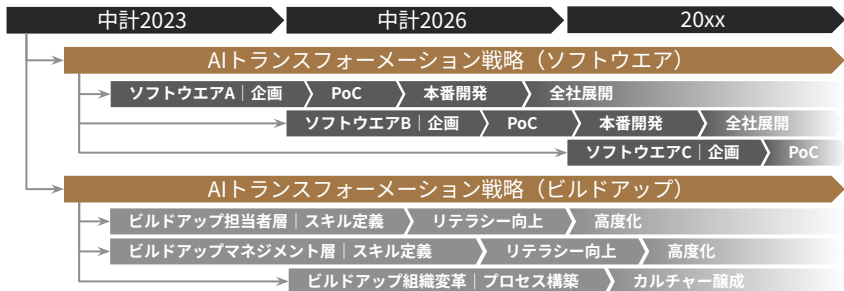
<https://avilen.co.jp/personal/course/e-certificate/>

# AIソリューション提案の範囲を企業の戦略策定支援へと広げ、より本質的な顧客価値を広範囲×長期間にわたり提供することでアカウントのLTV最大化を狙う



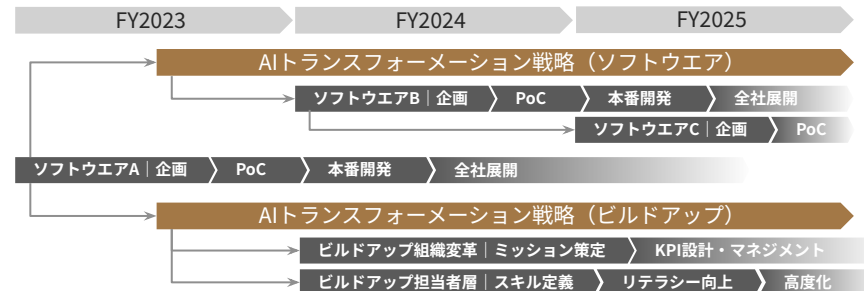
## 新規アカウントへのアプローチ例 (大手食品メーカー)

- 顧客の中期経営計画からブレイクダウンし、AIトランスフォーメーション戦略を策定
- エグゼキューションとしてビルドアップ/ソフトウェアの長期パッケージを提供



## 既存アカウントへのアプローチ例 (大手自動車メーカー)

- ビルドアップ/ソフトウェアのデリバリーを通じて上流の課題を特定し、AIXビジョンマップを策定
- 範囲を拡大・長期化したビルドアップ/ソフトウェアのパッケージを提供



戦略策定領域の支援事例

# レゾナックの従業員エンゲージメント向上を、高度データ分析により支援

2月7日配信のプレスリリース (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000186.000043360.html>)

## AVILEN、レゾナックの従業員エンゲージメント向上を高度データ分析により支援

～ 全従業員（日本国内）を対象としたエンゲージメントサーベイの結果に対し、因果探索等の手法を用いた分析を行い、データドリブンな人事施策の立案に寄与 ～

株式会社AVILEN 2024年2月7日 11時00分



株式会社AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）は、高度なデータ分析を実施し、株式会社レゾナック・ホールディングスならびに株式会社レゾナック（いずれも本社：東京都港区、代表取締役社長：高橋 秀仁、以下「レゾナック」）の従業員エンゲージメント向上を支援しました。



### ◆支援内容

AVILENはレゾナックに対し、高度データ分析による下記の支援を行いました。

#### ①従業員エンゲージメント向上に起因する要素の因果関係を特定

- ・2023年度の従業員エンゲージメントサーベイデータおよび、その他の客観的な人事データをサンプルに用いて、分析手法を検証・選定
- ・選定した分析手法を2023年度の従業員エンゲージメントサーベイデータに適用し、エンゲージメント向上に起因する要素の因果関係を特定

#### ②人事施策を立案するための示唆を導出

- ・高度データ分析により特定した因果関係から、組織の各部門・役職階層ごとに従業員エンゲージメント向上のための効果的な人事施策を立案するための示唆を導出

### ◆成果

従業員エンゲージメントサーベイのデータに対して、因果探索の手法を用いて分析を行い、エンゲージメント向上に起因する要素の因果関係を推定。効果的な施策立案のための示唆を導出することに成功しました。

因果関係から得られた示唆に基づき、組織の各部門・役職階層ごとに人事施策の提案を行い、従業員エンゲージメントの向上に寄与しました。

また、分析結果をもとにサーベイの設問内容を改修したことで、従業員エンゲージメント把握の精度向上が期待できます。



# AIを搭載した新規SaaS事業の開発支援や、経営層に対するビルドアップパッケージの提供など、ビジネスの上流にアクセスして変革を支援する案件を創出

## 1月19日配信のプレスリリース

(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000185.000043360.html>)

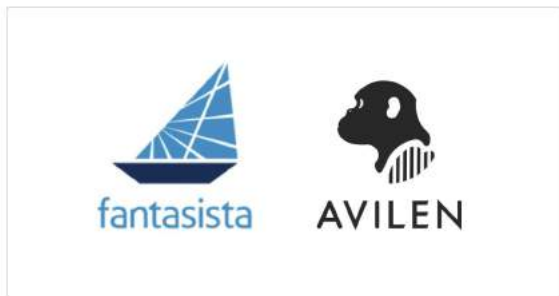
AVILEN、株式会社fantasistaの建設業界向けAIアプリケーション「造成くん」の開発を支援

～ わずか20秒で宅地開発における区画割の作成と概算工事費を算出できるAIアプリの開発支援を通じて、建設業界のDX推進に貢献 ～

株式会社AVILEN 2024年1月19日 11時00分



株式会社AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役 CEO：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）は、株式会社 fantasista（本社：東京都港区、代表取締役社長：田野 大地、以下「fantasista」）の不動産DX事業におけるAIアプリケーション「造成くんベータ版」の開発を支援いたしました。



## 2月6日配信のプレスリリース

(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000190.000043360.html>)

AVILEN、南海電気鉄道株式会社の部長層にデータ活用スキル育成プログラムを提供決定

～ 全社横断のDX推進を加速するための組織開発・人材育成を支援 ～

株式会社AVILEN 2024年2月6日 11時00分



株式会社AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）は、南海電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：岡崎信行、以下「南海電鉄」）の部長層に対しデータ活用スキル育成プログラムを提供し、全社横断のDXを推進するための組織開発・人材育成を支援いたします。



and more

# 「ChatGPTビジネス研修」「ChatGPTアイデアソン研修」をフックに、Chatmee含めたAIソフトウェア案件のオリジネーションを加速

テクノロジー活用アビリティ強化

課題特定

仮説構築

デザイン & モデル開発

PoC

実装

保守・運用

## ビルドアップパッケージ



### ChatGPT ビジネス研修

- 講義動画で生成AI・ChatGPTの基礎知識や最新の技術動向、活用方法を学習
- 施策立案の演習課題で社内企画を支援

提供実績 (一部)



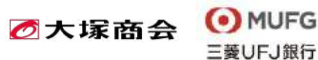
第20回 日本e-Learning大賞  
「生成AI特別部門賞」



### ChatGPT アイデアソン研修

- 生成AIのユースケース、生成AIを活用した業務プロセス改革を企画し、コンペティション形式で創出
- 企画を選出し、具現化する方針を立案

提供実績 (一部)



業界のペインを  
的確に捉えた案件の創出

プロンプトや  
プロセス変革により  
解決する課題

実装の難度が高く  
ビジネスインパクトが  
大きい課題

## AIソフトウェア



### ChatMee Powered by GPT-4

パッケージ型

- 情報セキュリティとデータの秘匿性が保証された法人向けChatGPT活用プラットフォーム

提供実績 (一部)



### Instructea

LLM  
技術コアモジュール

カスタマイズ型

- プレゼンテーション配信の要約レポート生成ソフトウェア
- 動画の感情分析ソフトウェア 等

提供実績 (一部)



# 株式会社三菱UFJ銀行にてChatGPTアイデアソンを開催。実務におけるユースケース163件を創出し、生成AI活用による業務改革を支援

11月29日配信のプレスリリース (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000183.000043360.html>)

## AVILEN、株式会社三菱UFJ銀行の生成AI活用による業務改革を支援

～ ChatGPTアイデアソンを開催し、実務におけるユースケース163件を創出～

株式会社AVILEN 2023年11月29日 11時00分



402

株式会社AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役 CEO：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）は、株式会社三菱UFJ銀行（本店：東京都千代田区、取締役頭取執行役員：半沢 淳一、以下「三菱UFJ銀行」）のChatGPTアイデアソンの運営を通じて生成AI活用による業務改革を支援しました。



### ・ 支援内容

三菱UFJ銀行に対し、AVILENはChatGPTアイデアソンを通じて下記の業務改革支援を行いました。

- 1.ChatGPTを活用した将来の業務イメージの具体化
- 2.ChatGPTに関する研修機会の提供

### ・ 「ChatGPTアイデアソン」の概要・特徴

「ChatGPTアイデアソン」は、生成AIを活用した業務プロセスの改革、およびAI活用人材の育成を支援するコンペティション形式の組織開発サービスです。

※以下の内容は本サービスの一般的な支援内容です。三菱UFJ銀行への支援内容と一部異なります。

<3つのステップで生成AI活用のアイデアを創出>

- ①基礎知識の習得（ChatGPTビジネス研修）
  - ・ ChatGPTの可用性とリスクの理解
  - ・ ビジネスに活用する上での観点とプロンプトについて
  - ・ ChatGPT活用ワーク
- ②企画の構想と玉成
  - ・ チームごとにユースケースと企画をディスカッション
  - ・ データサイエンティスト 講師との相談会
  - ・ 企画の中間レビュー、フィードバック
- ③企画の選出および具現化の方針立案
  - ・ 上位の企画およびPoCに進行する企画を選出
  - ・ 選出された企画を具現化する方針を立案

# 株式会社クレハの社員（米国拠点含む）にChatGPT活用プラットフォーム「ChatMee」を提供。ChatGPTの安全なビジネス活用をグローバル規模でサポート

3月21日配信のプレスリリース (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000192.000043360.html>)

## AVILEN、株式会社クレハの社員（米国拠点含む）にChatGPT活用プラットフォーム「ChatMee」を提供

～ChatGPTの安全なビジネス活用をグローバル規模でサポート～

株式会社AVILEN 2024年3月21日 11時00分



株式会社AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）は、株式会社クレハ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林 豊、以下「クレハ」）の社員1,722名（米国拠点含む）にChatGPT活用プラットフォーム「ChatMee」を提供しました。



### ・「ChatMee」活用の一例

#### ①市場調査や文献調査の効率化

研究職員が市場調査や文献調査において「要約の出力」で活用。技術調査、市場調査の初期段階における概要の把握が簡単にできるようになり、迅速な情報収集や新規事業のアイデア出しに活用しています。

#### ②翻訳や要約での効率化

海外に多くのグループ会社を持つクレハでは現地とのコミュニケーションが多発します。特に英語圏以外でのやり取りも発生しますが、中国語、韓国語、ベトナム語などの翻訳・要約機能により大幅に業務が効率的になりました。

#### ③プログラミングの効率化

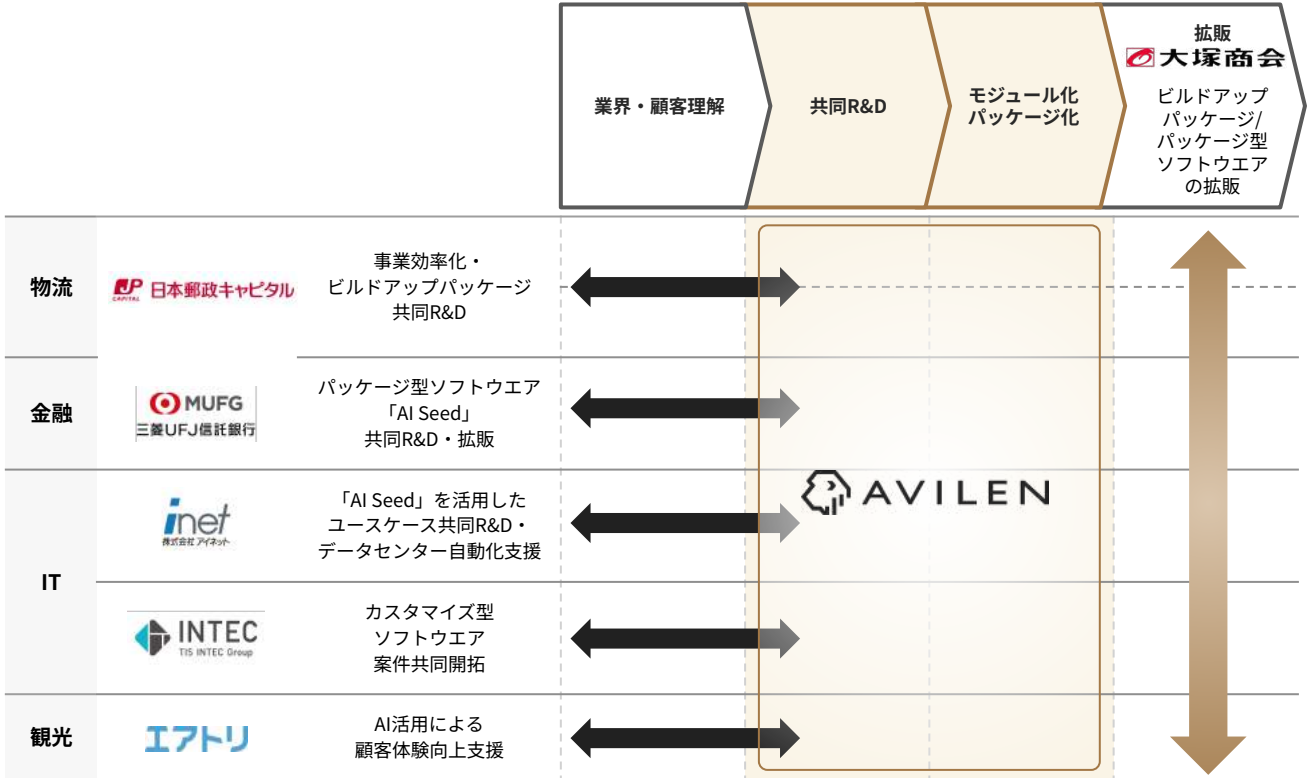
簡単なものはEXCELのマクロ、VBAのコーディング、難しいものはPythonの機械学習用のコーディングなど知識がまだ十分でない人向けにコーディングを提案して貰えるので、プログラミングが不得意な方でも簡単にシステム開発ができるようになりました。

### ・今後の展望

AVILENは、フォローアップウェビナーの開催など、クレハ社内における「ChatMee」活用のさらなる普及と活用方法の発展を目指して導入後もサポートを継続しています。

また、先行して提供が開始した米国拠点に加え、現在8カ国（ドイツ・オランダ・フランス・イギリス・オーストラリア・中国・ベトナム・韓国）の海外拠点での導入に向けた支援を続けています。

# 非連続的な成長を行うための戦略的資本関係等を構築し、実績の積み上げを目指す



### 現状の取り組み

- 日本郵政グループや三菱UFJ信託銀行、大塚商会等の大手上場企業との資本業務提携を締結

### 戦略

- M&Aについては、自社のケイパビリティ拡充やAI活用による買収先のバリューアップを目的とした実施が考えられる
- 戦略的パートナーシップを締結しているジャパンインベストメントアドバイザーとも連携
- パートナリングについては、①当社の提供サービス・プロダクトのクオリティを向上させる顧客・業界課題の把握フェーズでの連携と、②当社のパッケージ化された製品（主にChatmee）を効率的に販売する拡販・顧客サービスフェーズでのパートナーリングを強化する

### 目標

- FY24において、一層の成長を行うため、確実に実績を積み込むことを目指す
- Chatmeeについても、パートナー企業と連携しながら更なる導入数の拡大と解約率0%を目指す

# 非連続的な成長を目指し大塚商会とのシナジー創出に向けた多角的な取り組みを推進



# 株式会社大塚商会の経営層を含む全社員 約8,600人にChatGPTビジネス研修を提供。 全社員の生成AI活用スキルを一律で向上し、全社規模での業務効率化を加速

2月1日配信のプレスリリース (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000189.000043360.html>)

AVILEN、株式会社大塚商会の経営層を含む全社員 約8,600人にChatGPTビジネス研修を提供

～ 全社員の生成AI活用スキルを一律で向上し、全社規模での業務効率化を加速 ～

株式会社AVILEN 2024年2月1日 11時00分



株式会社AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）は、株式会社大塚商会（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大塚 裕司、以下「大塚商会」）の経営層を含む全社員 約8,600人にChatGPTビジネス研修を提供し、生成AI活用による業務効率化を支援しました。



## ・ 支援内容・成果

大塚商会に対し、AVILENはChatGPTビジネス研修の提供を通じて下記の実施を行いました。

### ①全社規模の研修実施を円滑化

ChatGPTビジネス研修の学習コンテンツを大塚商会独自のLMS（ラーニングマネジメントシステム）に掲載し、業務で生成AIを活用する対象社員は全体の8割にのぼり、該当者については全員受講完了。残りの社員も自己学習を目的として受講予定。

### ②生成AIに関する研修機会を全社一律に提供

生成AIおよびChatGPT活用の基礎知識を全社一律で習得することで、業務効率化の促進に貢献

### ③習熟度の把握と定着促進

学習後の習熟度を定量的に測定するテストを独自に作成。合格基準を設定することで、理解度の向上および知識の定着を促進

## ・ 今後の展望

大塚商会は、アライアンスによる取り組みの一環として、ChatGPTビジネス研修をはじめとするAVILENの「ビルドアップパッケージ」および、ChatGPT活用プラットフォームの「ChatMee（SaaS）」等を中堅・中小企業に代理店として販売・提供しています。

今回の研修を通じて得られた商材の深い理解および生成AI活用スキルの向上により、AVILENサービスのさらなる販売促進に寄与する見込みです。

AVILENは、アライアンスによるビジネスシナジーの創出に向けて、大塚商会のAI活用を引き続き多角的に支援して参ります。

# 人口約146万人※1の政令指定都市である京都市と「DXの推進に向けた生成AIの活用等に関する連携協定」を締結

11月13日配信のプレスリリース (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000182.000043360.html>)

## AVILEN、京都市と「DXの推進に向けた生成AIの活用等に関する連携協定」を締結

～自治体に対するAI活用・DX推進の支援を本格化～

株式会社AVILEN

🕒 2023年11月13日 15時00分



株式会社AVILEN（本社：東京都中央区、代表取締役 CEO：高橋 光太郎、以下「AVILEN」）は2023年11月14日、京都府京都市（京都市長：門川大作）と「DXの推進に向けた生成AIの活用等に関する連携協定」を締結いたします。



### ・背景

人口約146万人の政令指定都市である京都市（※1）は、デジタル社会形成に向けた国の動向等を踏まえ、令和4年1月に「京都市DX推進のための基本方針」（※2）を策定し、3つの目指す姿を掲げ、DXを推進しています。

#### ①行政サービスのDX

デジタル3原則、フューチャーサービスの推進等により、役所に向かなくても手続ができるなど、デジタル化の利便性を実感いただける『スマート市役所・スマート区役所』

#### ②内部事務のDX

デジタルできることはデジタルに任せ、真に職員でなければできない業務に職員の力を振り向ける等による、『生産性の飛躍的向上』、『効率的・効果的な行政』

#### ③地域・社会のDX

京都ならではの強みをいかした企業・大学など多様な主体との連携の下、デジタルの力で、社会課題の解決や新たな価値創造を図るなど、都市に魅力と活力をもたらす『デジタル創造都市』

（※1）出典 | 総務省「令和2年国勢調査（速報値）」

（※2）出典 | 京都市DX推進のための基本方針 (<https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/cmafiles/contents/0000294/294117/houshin.pdf>)

### ・連携の目的と内容

本協定は、AVILENが提供する生成AIの活用支援をはじめとしたAIソリューションサービスの提供や、データドリブンなデジタル組織構築に関する知見の提供等を通じて、京都市のさらなるDX推進を目的とするものです。

#### <連携内容>

- ①生成AIの活用等に関すること
- ②データ活用等の調査・研究に関すること
- ③デジタル人材の育成に関すること
- ④その他、今後両者が協議により必要と認める事項に関すること



# リスク情報

## 事業計画遂行上の重要なリスクと対応方針

成長の実現や事業計画の遂行に重要な影響を与える可能性があるとして認識する主要なリスクです。その他のリスクについては、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

項目	主要なリスク	発生可能性	影響度	リスク対応策
技術革新	急速な技術革新があった場合において、変化に対応する開発費や開発工数等が大幅に増加する可能性	中	高	継続的な情報収集、優秀なエンジニアやデータサイエンティストの採用や教育に注力
競合他社	AI関連領域はその成長性から注目されている中、多くの企業し、当社の競争力が低下する可能性	中	中	Chat GPTをはじめとする最新のテクノロジーを早期にパッケージ化しサービス展開 最新テクノロジーを解説したビルドアップコンテンツの開発
プロジェクトの進捗	多数のプロジェクトが早期のフェーズで終了する場合や、各フェーズにおいて想定以上に工数がかかる可能性	中	高	プロジェクトの分散、毎月進捗管理をモニタリングを実施しプロジェクト管理の徹底(必要に応じて工数の見積修正)等
非連続成長のための投資	当社は非連続な成長を続けるためには新規プロダクトの開発、M&A等の戦略的な投資が重要だが、短期的な利益率低下につながる可能性	中	中	リスクシナリオを慎重に検討し投資等を行うことで、そのリスクの低減に努める
情報セキュリティ体制	人為的なミスや不正アクセスによる情報漏えいが発生する可能性	低	高	社内にて情報セキュリティ委員会を毎月開催。情報セキュリティ体制や情報管理体制を構築するとともに、ISO 27001及びプライバシーマークに準拠した運用を徹底
人材の確保及び育成	当社の求める水準に合致する人材の確保及び育成が計画どおりに進まない可能性や退職者の増加により必要な人員を維持することができない可能性	中	中	積極的な採用活動を進めるとともに、人材の育成も進める。また外部の業務委託者との連携を強化することでリソースを確保

# APPENDIX

## 会社概要・財務諸表

## 会社概要

会社名	株式会社AVILEN
住所	〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町2-3-3 秋葉原ファーストスクエア9階
設立	2018年8月
資本金	5,176万（2023年12月末時点）
従業員	54名（2023年12月末時点）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>● 生成AI等をはじめとした技術コアモジュール「AVILEN AI」を活用した、AIソフトウェアの開発および実装</li><li>● AI-Readyな企業に対してAIドリブンなビルドアップパッケージを提供</li><li>● AIトランスフォーメーション推進のための戦略策定および実行支援</li></ul>

## 損益計算書

(千円)	22年通期	23年通期	前年対比	
売上高	732,090	<b>929,587</b>	+197,497	+27.0%
(AIソフトウェア)	265,054	<b>486,111</b>	+221,056	+83.4%
(ビルドアップ)	467,035	<b>443,476</b>	-23,559	-5.0%
売上原価	238,473	<b>277,779</b>	+39,306	+16.5%
売上総利益	493,617	<b>651,808</b>	+158,191	+32.0%
販売費及び一般管理費	383,239	<b>479,877</b>	+96,637	+25.2%
営業利益	110,702	<b>171,930</b>	+61,553	+55.8%
当期純利益	79,136	<b>114,725</b>	+35,588	+45.0%

## 貸借対照表

(千円)	22年度	23年度
流動資産	357,222	<b>532,827</b>
現金及び預金	223,115	<b>279,690</b>
売掛金	115,950	<b>221,631</b>
固定資産	58,502	<b>92,127</b>
有形固定資産	983	<b>432</b>
無形固定資産	26,614	<b>63,657</b>
投資その他の資産	30,904	<b>28,037</b>
資産合計	415,724	<b>624,954</b>

(千円)	22年度	23年度
流動負債	211,334	<b>209,249</b>
負債合計	211,334	<b>209,249</b>
株主資本	202,064	<b>414,310</b>
資本金	3,000	<b>51,760</b>
資本剰余金	-	<b>48,760</b>
利益剰余金	199,064	<b>313,790</b>
新株予約権	2,325	<b>1,395</b>
純資産合計	204,389	<b>415,705</b>
負債純資産合計	415,724	<b>624,954</b>

# APPENDIX

## AIソフトウェアの例



Estimea - データ分析・予測

## 法人顧客セールス効率化 ソフトウェア

上場企業の業績等の定量的なデータやアンケート等の定性的なデータを活用し、顧客ランクを生成することで、営業効率化を実現するソフトウェア。

法人顧客の新規獲得や融資借換等による離反確率等を予測。

Estimea - データ分析・予測

## ニュース分析 ソフトウェア

日経等の様々な記事媒体から、営業や管理系部署が必要なニュースをピックアップするソフトウェア。

営業担当者の顧客属性に合ったニュースや管理系ではアンチマネロンに該当するニュースをピックアップ。

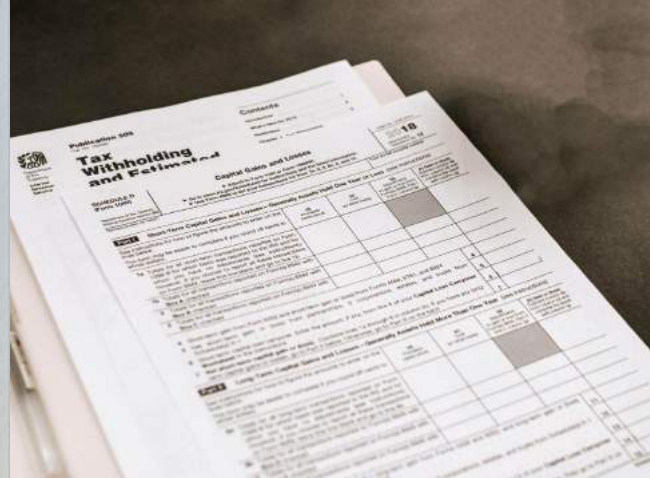
Estimea - データ分析・予測

## リテール顧客セールス効率化 ソフトウェア

金融商品や不動産等の購入・売却データを分析・予測を行うことで営業効率化を実現するソフトウェア。

特定のリテール顧客がどのような金融商品等を購入・売却するかを予測、また特定の金融商品等に対してどのリテール顧客が購入するかを予測。





Estimea - データ分析・予測

## マーケット分析 ソフトウェア

金利や為替、株式市場、金融商品価格等の推移・局面を分析するソフトウェア。

過去のマーケット局面を分析し、今後の遷移を予測。

Estimea - データ分析・予測

Numerea - 数値分析

## 不動産鑑定 ソフトウェア

不動産の価格鑑定ソフトウェア。

不動産鑑定の根拠になる「土地種別」や「地価公示」「取引事例」を分析し、不動産鑑定士の業務を代替。

Cognae - 特殊紙面認識

Cognae - 特殊紙面認識

## ドキュメント デジタライズ ソフトウェア

手書き文字や非定型帳票をデジタル化し、業務効率化を実現するOCRソフトウェア。

「記入内容を手作業でデータとして入力する」という業務フローを代替。



Findea - 異常・損傷検知

## 大型設備点検の自動化 ソフトウェア

橋梁や高架道路などの大型建造物の点検作業を、ドローン空中撮影と損傷検知AIを組み合わせたシステムで代替するソフトウェア。

大型建造物の稼働を停止させることなく、かつ高所や危険な作業に人命をさらすことなく、点検作業を実現。

Estimea - データ分析・予測

## 電力・ガスなどの需要予測 ソフトウェア

指定した都市の電力供給データや天候データを分析し、需要量に応じたエネルギーを生産供給するためのソフトウェア。

N時間後にその都市に必要な電力・ガスの供給量を予測。

Findea - 異常・損傷検知

## ケーブル異常検知・故障予測 ソフトウェア

天候によって変化するケーブル劣化の正常値を予測。センサーで計測した値との差分を計算し、異常を検知するソフトウェア。

電力ケーブルの劣化を判定し、漏電を未然に防止。



Genea - 画像生成

## パッケージデザイン自動生成 ソフトウェア

飲料や食料品のパッケージデザイン図案を、キーワードをもとに自動生成するソフトウェア。

パッケージデザインにまつわる人件費を削減。

Estimea - データ分析・予測

## 先物取引の価格相場予測 ソフトウェア

野菜・魚・肉・米などの材料価格を過去の相場データから予測するソフトウェア。

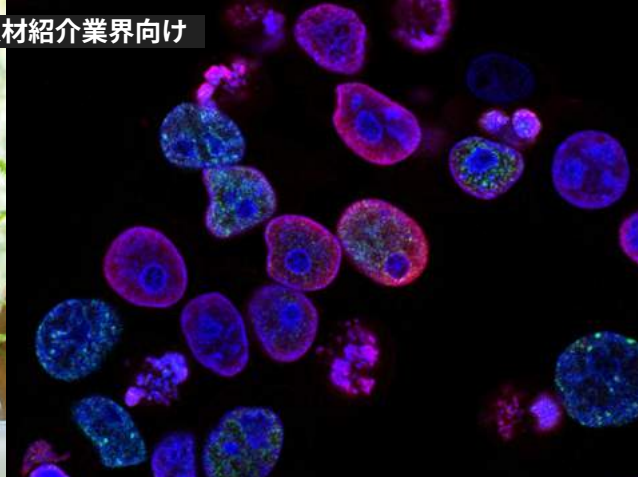
買い付けのタイミングを最適化。

Genea - 画像生成

## 似顔絵アバター生成 ソフトウェア

人物のポートレート写真から、その人物の似顔絵のようなアバターを生成するソフトウェア。

Web会議でアバターとして活用し、ストレス軽減・コミュニケーションを円滑化。



Recommea - レコメンデーション

## 介護施設のマッチング ソフトウェア

入居希望者の趣向や性格から、求められる介護サービスを予測。条件に適した介護施設を提案するソフトウェア。

入居者と家族の満足度を向上。

Findea - 異常・損傷検知

## データ分布による疾患検出 ソフトウェア

細胞の2変量データを採取し、その分布をデータのクラスタリングや異常検知により検査することで、疾患判定するソフトウェア。

疾患検出のために手動で行われている分布の検査を代替。

Recommea - レコメンデーション

## 人材と案件のマッチング ソフトウェア

企業の求める人材と、求職者の求める案件をマッチングするソフトウェア。

マッチングまでに要する時間を短縮し、顧客体験を向上。

## 免責事項及び将来見通しに関する注意事項

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。

なお、当資料のアップデートは2024年12月期決算発表後の2025年3月を目途に開示を行う予定です。